

令和4年5月 斐伊川水系水質情報

令和4年5月(宍道湖12日・中海18日採水)								単位:mg/l(Chl-a: µg/l)		
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
C O D	全層	4.0	△	平 年 並 み	3.0	○	良好(平年並み)	4.1	△	平 年 並 み
全窒素	上層	0.38	○	良好(平年並み)	0.32	○	良好(平年並み)	0.40	○	良好(平年並み)
全リン	上層	0.039	△	平 年 並 み	0.024	○	良好(平年並み)	0.045	△	平 年 並 み
Chl-a	上層	4.5	○	良 好	3.1	○	良 好	6.9	△	平 年 並 み
塩化物イオン	上層	3,560	×	やや高い	12,600	×	やや高い	11,100	△	平 年 並 み
	下層	3,620	△	平 年 並 み	17,400	△	平 年 並 み	15,800	×	やや高い
溶存酸素	上層	10.5		平 年 並 み	9.1		平 年 並 み	10.6		平 年 並 み
	下層	7.8		平 年 並 み	8.1		やや高い	4.9		やや低い

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項 目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
C O D	全層	7.4	下降	3.5	やや下降	3.9	横ばい
全窒素	上層	0.43	横ばい	0.31	横ばい	0.30	横ばい
全リン	上層	0.047	横ばい	0.025	横ばい	0.026	やや上昇

宍道湖の透明度は1.1mから2.0mと上昇し、良好。中海の透明度も2.2mから3.3mと上昇し、かなり良好。米子湾の透明度は2.3mから2.0mとやや下降し、平年並みになっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

	↑	★	<非常に高い>
平均値＋標準偏差値の3倍	↑	☆	<かなり高い>
平均値＋標準偏差値の2倍	↑	×	<やや高い>
平均値＋標準偏差値 10年間平均値 平均値－標準偏差値	↑	△	<平年並み> ただし、環境基準値以下の場合は<良好>とする。
平均値－標準偏差値の2倍	↓	○	<良好> ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。 (塩化物イオン)
平均値－標準偏差値の3倍	↓	◎	<かなり良好> <かなり低い> (塩化物イオン)

2. 水質変化について

- 前月値±標準偏差値以上、以下の変化..... 上昇、下降
 注) 平均値±標準偏差値全体のおよそ 68.2%
- 前月値±標準偏差値の 1/2 以上、以下の変化・・やや上昇、やや下降、横ばい
 平均値±標準偏差値の2倍・・全体のおよそ 95.5%
- 前月値±標準偏差値の 1/2 以内の変化・・横ばい
 平均値±標準偏差値の3倍・・全体のおよそ 99.7%